



## 日韓海峡圏カレッジ「キャンパス釜山」「キャンパス福岡」が本格スタート

### 概要

九州大学韓国研究センターでは、韓国の釜山大学校と共同で、文部科学省特別経費採択事業「日韓海峡圏カレッジプログラム」を実施し、世界で活躍する次世代リーダーの育成を目指しています。本プログラムでは、日韓の学部学生100名が、夏季の2週間、海峡を往来して相互のキャンパスで学びますが、このような規模・内容での学生の「国境を越えた」モビリティは、日本で最初の試みとなります。まずは、平成24年8月16日～23日に釜山大学校で「キャンパス釜山」を実施し、続いて平成24年8月23日～30日は九州大学で「キャンパス福岡」を行います。期間中は、共通言語である英語による講義に加えて、福岡市内の企業におけるインターンシップ等も行います。

### 背景

日韓の地域連携の流れが加速しつつある現在、日韓海峡圏カレッジ「キャンパス釜山」「キャンパス福岡」プログラムは、「海峡を隔てた」福岡・釜山の両都市をリンクさせ、学生に学ぶ機会を与える国際共同教育事業です。学生にアジアに強い次世代リーダーとなるリテラシーを修得させるために、夏季の2週間、両校のキャンパスを共有することで可能となるカリキュラムの同一化、共通言語である英語による講義、ディスカッションなどに力点を置いたプログラムを展開します。本プログラムは、昨年度に両大学から10名の学生の参加を得て試行されたもので、今年度より本格的にスタートします。

### 内容

まず、平成24年8月16日に、釜山大学校で開催される「キャンパス釜山」に参加するために、九州大学の学生50名が渡韓します。続いて、平成24年8月23日には、九州大学で開催する「キャンパス福岡」に参加するために、釜山大学校の学生50名が九州大学の50名の学生とともに来福します。本プログラムにより、九州大学の学生50名と釜山大学校の学生50名の併せて100名が、この夏に海峡を渡り、それぞれのキャンパスで学びます。

九州大学で開催する「キャンパス福岡」では、特別講義だけでなく、福岡の企業において課題プレゼンテーションを行うインターンシップや島原研修など様々なプログラムを実施します。

### <キャンパス釜山・キャンパス福岡 日程表>

	日 時	スケジュール
キ ヤ ン パ ス 釜 山	8月16日(木)	九大生 博多港 発 釜山港 着 オリエンテーション キャンパスツアー
	8月17日(金)	特別講義
	8月18日(土)	文化体験 (慶州国立博物館、雁鴨池、仏国寺)
	8月19日(日)	フィールドワーク (釜山市内グループ調査)
	8月20日(月)	特別講義
	8月21日(火)	企業訪問
	8月22日(水)	特別講義 (フィールドワーク報告) 文化体験 (韓服体験)
キ ヤ ン パ ス	8月23日(木)	九大生・釜山大生 釜山港 発 博多港 着 オリエンテーション
	8月24日(金)	開講式 特別講義 小此木政夫 特任教授 (韓国研究センター) アンドリュウ・ホール 准教授 (国際教育センター) 清水周次 准教授 (九州大学病院・アジア遠隔医療開発センター)

福岡	8月25日(土)	島原研修(島原岳災害記念館、ディスカッション) 特別講義 清水 洋 教授(附属地震火山観測研究センター) 岩淵秀樹 課長補佐(文部科学省科学技術・学術政策局政策課、 韓国研究センター学術共同研究員)
	8月26日(日)	島原研修(島原城)
	8月27日(月)	インターンシップ (株式会社やまやコミュニケーションズ・九州電力株式会社・ 住友商事九州株式会社・西日本鉄道株式会社)
	8月28日(火)	インターンシップ
	8月29日(水)	特別講義 出水 薫 教授(法学研究院) 深川博史 教授(経済学研究院) 松波成行 特任教授(最先端有機光エレクトロニクスセンター) レポート作成 閉講式
	8月30日(木)	釜山大生 博多港 発 釜山港 着

会場：文系大講義室(キャンパス福岡 開講式、閉講式、特別講義1～3、6～8)  
島原市内(キャンパス福岡 特別講義4・5)  
福岡市内各所(インターンシップ)

※「キャンパス釜山・福岡」は前期集中講義としてそれぞれの大学で単位認定(2単位)されます。

## ■効果

日韓両国100名の学部学生が、国境を越えてキャンパスを共有するプログラムは、日本で最初の試みです。本プログラムを通じて、単なる国際交流、語学研修の枠組みを大きく越えて、日韓を軸としたアジアの次世代リーダーとなる人材を育成することが期待されます。

また、両大学が世界に向かって跳躍するグローバル人材を育成するに際して、本プログラムが海外留学のキックオフプログラムとしての役割を担っていくことも期待されます。

## ■今後の展開

来年度は、本プログラムを通じて、九州大学及び釜山大学校との間で100名規模の単位互換を実現する予定です。このような規模の「国境を越えた」単位互換は、日本で最初の試みとして国内外から多くの注目を浴びており、世界で活躍する次世代リーダーの育成へつながることが期待されます。

### 【お問い合わせ】

韓国研究センター 日韓海峡圏カレッジ  
テクニカルスタッフ 光安一恵  
電話：092-642-2748  
FAX：092-642-4359  
Mail：kaikyo@jimu.kyushu-u.ac.jp